

松永製菓の新店「シルコッテ」

## 和洋折衷の外観

（ここ）でしか味わえない魅力

スペースが  
設計・施工

スペースが設計・施工する松永製菓（愛知県小牧市）の新店「シルコッテ」が9月6日、オープンした。「しるこサンド」で知られる松永製菓の新業態店舗で、生しるこサンドの製造ラインを本社工場から移設し、店内から製造風景を見学できる。

シルコッテは本社工場の対面の3850平方メートルの敷

地に新設した。2階建てで延べ床面積は1320平方メートル。1階は限定商品が並び、イートインもできる店舗、2階はワークショップやイベントなどにも利用できる多目的ルーム、店舗の奥には生しるこサンドの工場が広がる。

スペースがこうした物件を施工まで手掛けるのは初めて。シルコッテは一つの



異なる建物が見せるシルコッテの外観

ードだが、北欧を思わせるれんが造りとしっくりの組み合わせは、ピスケットに生しるこをサンドするしるこサンドの「和洋折衷」の精神にもつながる。店舗の周囲には松の苗木を植える計画だ。

建物なのに、あえて外装の造りを不連続にすることで、異なる形の建物が密集する北欧の街並みのような外観をしている。デザインする上で「北欧」がキーワード

店内には、松ぼっくり型の照明や、しるこサンドをモチーフにしたテーブルやレジカウンターを配した。シルコッテ限定のここだけしか買えない商品を、ここだけの雰囲気味わえる。